

本年もよろしく

お願いいたします



岩手県職員労働組合  
役 職 員 一 同



1427号=新年特集号

2015年1月1日 発行

発行日 毎月15日30日  
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジョー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

# 仲間が集い！輪が広がる！

## 2015年も皆で頑張ろう！



### 2015年今年もよろしく申し上げます

- |           |         |                       |
|-----------|---------|-----------------------|
| 中央執行委員長   | 平 中 清 人 | (盛岡支部・福祉総合相談センター分会)   |
| 副中央執行委員長  | 佐々木 真由美 | (県庁支部・調査統計課分会)        |
| 副中央執行委員長  | 小田嶋 智 昭 | (花巻支部・花巻空港事務所分会)      |
| 書記 長      | 大 崎 勝 弘 | (県庁支部・森林保全課分会)        |
| 書記 次 長    | 小 澤 豊 和 | (県庁支部・資源循環推進課分会)      |
| 中央執行委員    | 中 川 理 恵 | (胆江支部・農政部分会)          |
| 同         | 多 田 康 洋 | (盛岡支部・産業技術短期大学校分会)    |
| 同         | 菊 池 勉 治 | (県庁支部・管財課分会)          |
| 同         | 佐々木 辰 治 | (県庁支部・建設技術振興課分会)      |
| 同         | 小 原 大 彦 | (胆江支部・農政部分会)          |
| 同         | 佐 藤 嘉 彦 | (北上支部・中央農業改良普及センター分会) |
| 同         | 佐 藤 睦 子 | (県庁支部・畜産課分会)          |
| 同         | 今 野 善 文 | (北上支部・生物学研究所分会)       |
| 同         | 口 岩 喜 幸 | (釜石支部・土木部分会)          |
| 同         | 平 吉 美 智 | (気仙支部・地域振興センター事務室分会)  |
| 県 庁 支 部 長 | 長 沼 英 友 | (自然保護課分会)             |
| 盛 岡 支 部 長 | 加 藤 秀 樹 | (保健福祉環境部分会)           |
| 花 巻 支 部 長 | 小 原 誉 二 | (農林振興センター分会)          |
| 北 上 支 部 長 | 漆 原 昌 二 | (農業大 学 校 分 会)         |
| 胆 江 支 部 長 | 佐 藤 力 也 | (土 木 部 分 会)           |
| 一 関 支 部 長 | 遠 藤 正 志 | (農林振興センター分会)          |
| 釜 石 支 部 長 | 多 田 野 修 | (農 林 部 分 会)           |
| 宮 古 支 部 長 | 類 家 昭 義 | (土 木 セ ン タ ー 分 会)     |
| 久 慈 支 部 長 | 佐 藤 一 哉 | (材 務 部 分 会)           |
| 二 戸 支 部 長 | 小 野 演 彦 | (農林振興センター分会)          |

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、心新たに正月をお迎えることと存じます。

カレンダーを掛け替え、お供えやしめ飾りをしつらえるだけで、気分が一新します。大掃除ができてみても、新年に免じて、どうかのんびりと心穏やかに皆様が過ごされることを願ってやみません。県職労という組織に組合員の皆様が集う意義も、県職労の使命も、「組合員の職場と家庭での安心」に他なりません。

さて、この時期に昨年を振り返り、今年1年を展望していく作業が、毎年のことにもかかわらずその都度新鮮なのは、年という単位が物事を整理しやすい尺度であるためかもしれません。1年たつて必要のないものは、整

理してしまえるものです。一方で、遠い過去は、意識化が必要なことであっても忘却の彼方に追いやられがちです。

昨年を振り返れば、7年振りのプラス勧告・賃金改定・差額支給が最大のトピックです。賃金の好循環の具現化にはいささか遠いベースアップ率とは言え、2014確定闘争での組合への結果と行動によって得られた成果です。ただし、このことは、昨年の取組みだけでなく、反行革や地方財政確立のための財源確保等、数年間の地道な署名活動や街頭宣伝といった行動が結びついたものとして意識しなければなりません。

過去1年にとどまらず、もう少し古く目を向ければ、70年前に終戦を迎えたという事実が突き当たります。戦後、3世代を生き抜いた平和憲法が大きく揺さぶられたところに、東日本大震災に見舞われ、その対応に全力を注いでいる今、私たちは、平和を希求する熱い魂を忘れてはなりません。県職労の歴史は、戦後の民主化実現の行動とともにあります。今年こそ、私たちが求め続ける真の民主主義を立憲主義とともに確立しましょう。

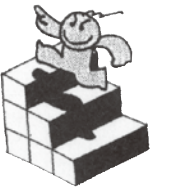
本年も、皆様の変わらぬ御支援、御協力をお願いいたします。



中央執行委員長  
平 中 清 人

# 熱い魂を呼び起こそう

# 今年「未」年!



2015年の干支は、「未年(ひつじご)」で、「子(ね)」から始まる十二支の8番目に位置し、十干十二支では「乙未(きのとひつじ)」とされています。

「未」は、「漢書」によると、「暗い」を意味する「昧(まい)」のことを指し、植物が茂って暗く覆うこととされ、また、「説文解字」によると、果実が熟して滋味が生じた状態を表しているとの事です。これらのことから、2015年の「乙未(きのとひつじ)」は、前に進むために、生い茂っている悪い風潮や慣例を取り払い、草木がまっすぐに伸びていくように、努力する年だということの様です。最近の未年はどんな出来事があったのでしょうか? ちょっと振り返ってみます。

## 1979年 (昭和54年)

高橋文雄委員長(当時)は年頭のあいさつで、同年4月から「週休2日制」が施行されることについて、「労働時間短縮の観点から施行を成功させよう」と呼びかけた。また、政府の進める行政改革と公務員パッシングについて「社会全体の低賃金化を進めるために官民労働者の分断を狙う政府にしっかりと抵抗して行く」と訴えた。



1979年2月開催の第3回婦人集会

2月には、第3回婦人集会を開催し、高橋委員長(当時)は年頭のあいさつで、同年4月から「週休2日制」が施行されることについて、「労働時間短縮の観点から施行を成功させよう」と呼びかけた。また、政府の進める行政改革と公務員パッシングについて「社会全体の低賃金化を進めるために官民労働者の分断を狙う政府にしっかりと抵抗して行く」と訴えた。

同月開催した臨時大会では、4月下旬に2時間の連続ストで春闘山場を戦い抜くことを決定。ストライキに初めて参加した浅沼隆光さん(元委員長・当時は中央執行委員)は、スト参加者処分について、「時間内に文句を言って仕事をしなければその分時間賃金カットされるのは当然であるがそれ以外の処分をするのはおかしい。どうして不満が出て、全員がそのような態度をとったかを反省し、改善するのが先決だ」と当局の姿勢を厳しく追及した。3月には、社会保険庁が突然オンライン化計画を発表したことを受け、全職場

会を開催し、労基法研究会が「生理休暇の廃止」「深夜労働の自由化」を報告書に盛り込んだことを踏まえ、「男女平等」と「母性保護」は二律背反ではないことを確認した。

覚書  
社会保険業務の全国オンライン計画の実施にあたって左記の事項を確認する。  
一、オンライン化に伴い首切り、定員の削減は行わない。  
二、オンライン化は、地方事務官の身分問題に結びつくものではない。この問題については、職場の意見も尊重しつつ慎重に対処する。  
三、オンライン化に伴う職業病の発生を防止し、職員の健康を保持するための所要の措置を講ずる。  
四、オンライン化に伴い国民のプライバシー保護については、万全の措置を講ずる。  
五、オンライン化計画に伴い、労働強化が生ずることのないよう十分配慮する。

1979年 オンライン導入に反対し、交わした覚書

安上がりの行政、営利企業追従の姿が露骨化してきたため、自治研集会の中で議論が行なわれ、保健所協議会と社会福祉評議会が結成され、対人保健サービスを切り捨てる流れに反対しようとして立ち上がった。その他、釜石支部では組合員の家族が日頃感じていること等についてひざを交えて話し合いながら、春闘・統一地方選の勝利に結びつけていこうと家族懇談会を開催した。また、花巻支部では、北斗音響花巻工場閉鎖に伴う全員解雇をめぐり青婦部が支援態勢を組み、合理化は資本家が儲けをだすためにやっているものであることも学んだ。



1979年 釜石支部 家族懇談会

### 主な出来事

4月の統一自治体選挙では、県職労推薦の27人(社会党)が市議会議員選挙に当選。また、総選挙では小野信一さん(1区)、北山愛郎さん(2区)が当選した。80年代の政治の動向を決める闘いであった。また、保健所統合による

## 1991年 (平成2年)

県庁盛岡支部では婦人昼食会を開催し、育児休業制度について学習した。当時は、一部の職員しか育児休業を取得できなかった。子どもが生まれて1歳を迎えるまで自分の手で育てたいという女性組合員の声をふまえ、育児休業の全職場への適用拡大を目標に取り組んだ。当局の提案は「産休後60日・代替職員措置しな



1991年 青年婦人部の交渉

い」だったが、再考を求め、「出産から6月の範囲内・代替職員は臨時職員で対応」との回答を引出した。2月には、東京で「育児休業法制定を求める自治労決起集会」が開催され、県職労からも2人の組合員が参加した。



5月には人事課長から次の提案があった。  
①夏季休暇3日間新設  
②「募参り・元気回復」のための職専免廃止  
③非常勤・臨時職員には付与しない  
それまで②の職専免は3日以内だったが、行革により1日減らされていた。長年の要求により「夏季休暇の新設」が実現した。また、非常勤職員・臨時職員に対して付与しないとの提案に對しては、「臨時職員も仕事は同じ。勤務条件を良くして働きやすくするのが人事課長の役目だ」と強く反

4月には盛岡市議会議員選挙が行われ、伊沢昌弘さんが初当選。伊沢さんは、前年10月に県を退職し、基本政策をうったえながら、運動を盛り上げてきた。「知名度不足」「いさわ大苦戦」が伝えられる厳しい選挙戦

発し、非常勤・臨時職員も一般職員と同様に「3日間」にすることを勝ち取った。5月には人事課長から次の提案があった。  
①夏季休暇3日間新設  
②「募参り・元気回復」のための職専免廃止  
③非常勤・臨時職員には付与しない  
それまで②の職専免は3日以内だったが、行革により1日減らされていた。長年の要求により「夏季休暇の新設」が実現した。また、非常勤職員・臨時職員に対して付与しないとの提案に對しては、「臨時職員も仕事は同じ。勤務条件を良くして働きやすくするのが人事課長の役目だ」と強く反



1991年 畜産・家畜保健衛生協議会の交渉

宿直当番について、1982年に各合同庁舎の宿直が廃止されたが、緊急時の対応などを理由に本庁だけが残されていた。「気象通報の対応といわれても慣れていくわけではないから不安」「仕事のほかに泊まりはきつい」という多くの声によって本庁宿直についても廃止を確認した。

### 主な出来事

畜産・家畜保健衛生協議会は、9・10月に、畜政課長及び農政企画課長と交渉した。獣医師の待遇改善を要求したが「予算がない」と消極的な回答に終始。一方、前年度要求した「被服貸与規程の緩和(診察衣を1年2着支給)」についての条例改正を勝ち取った。

1991年の音楽  
小田和正「ラブ・ストーリーは突然に」、CHAGE & ASKA「SAY YES」、KAN「愛は勝つ」、槇原敬之「どんなときも。」

## 2003年 (平成15年)

前年に出された人勧制度史上初めての賃金引下げ勧告に伴い、減額差額分が、3月期末勤勉手当から差し引かれた。これは、『不利益不遡及』の原則に反するものであり、違法性が疑われた。4月には拡大闘争委員会を開催し、人事委員会に對して「措置要求」を求め



2003年 県職労組織集会

7月には、組織集会を開催し、9つの評議会93人が集まり課題など議論した。基調講演では労働大学の松本重延さんが、「小泉改革は、アメリカ型を目指していて、富める者は富み、貧

ましいものは貧しくの二極化が進んでいる。義務的経費より人件費の伸びが低いのに、財政悪化が人件費問題にすり替えられているということを学んだ。この年の人勧は、夏季休暇を3日から4日に増やすことや育児時間を1年から1年6ヶ月に増やすことが盛り込まれたが、給料表は2年連続引下げ、一時金は5年連続の削減が勧告された。加えて当局からは、寝耳に水の「独自カット」を提案された。理由は、地方交付税削減と公共事業費の増加により、2年後には赤字財政再建団体に陥ってし

まうというものだった。財政危機は、他人事や自然発生的なものではなく、政策選択の結果であり、国に追いつき責任をどう果たすのか問い質した。増田知事は、財政悪化が自分の責任であることを認め、自らの報酬カットの拡大によって責任をとると共に、二度



2003年 総務部長交渉での座り込み

2003年の音楽  
S.M.A.P「世界に一つだけの花」、森山直太朗「さくら」、宇多田ヒカル「COLORS」、Mr.Children「HERO」

### 主な出来事

郵政事業庁廃止  
「はやぶさ」打ち上げ  
戦後初めて有事関連三法(有事関連三法)成立  
2003年の音楽  
S.M.A.P「世界に一つだけの花」、森山直太朗「さくら」、宇多田ヒカル「COLORS」、Mr.Children「HERO」